



生産性向上支援訓練 利用者の声

- ◆利用コース名：「成果を上げる業務改善」（6時間×1日間）ほか8コース
- ◆訓練実施時期：令和3年5月～10月 ※全てオープンコース
- ◆受講者数：延べ 14名

●株式会社NCC

所在地：福井県鯖江市
従業員数：14人
事業内容：イオンプレーティング受託加工



【事業所 外観】

事業主の声

<訓練を利用したきっかけ>

当社は、お客様から製品をお預かりし、超硬質なメタリックカラーを施すイオンプレーティングの受託加工を行っている会社です。当社の社員教育はこれまでOJTを中心としてきました。生産現場に必要な知識を今以上に教育できる仕組みはないかと考えていたところ、ポリテクセンターから生産性向上支援訓練の案内があり、9コースに社員3名が参加させていただくことになりました。

<訓練を利用した感想と今後の抱負>

受講者は習得した知識や技能を活かして、自分で考え行動しようとする姿勢が見られるようになり、問題点の発見や解決にも進んで努めるようになりました。
また、社員の団結力も生まれ、現場リーダーを巻き込んで生産現場改善にも取り組んでいます。このようなリーズナブルな価格で内容が濃い研修を受講できたことは、費用対効果は大きいと感謝しております。
今後も生産性向上支援訓練を利用し、「新しいことに挑戦する」という社員の意識改革を推進し、会社のレベルアップを図りたいと考えています。

受講者の声

<訓練を受講した感想・今後の目標>

私は、経営戦略室に所属しています。イオンプレーティング（IP）の装置の操作、生産、品質管理、IP装置のメンテナンスなどのスキルを習得して、2年後には台湾従業員のインストラクターとして台湾の合併会社で働く予定です。5年後には、IP加工事業と技術指導だけでなくIP装置販売事業（台湾・東南アジア）にも携わる予定です。その目標に向けて、生産現場と営業の研修を受けました。現場の生産性向上、問題解決、業務改善の訓練を通して、日常の「違和感」を問題として認識、分析、改善、維持して成果を挙げるよう取り組んでいます。

また、訓練で習得した表計算ソフトを用いて、チームや組織全体の業務の効率化を実現するため、これまで蓄積した顧客情報の資料や日常のIP装置で加工したデータの集計分析をするなど、幅広く活用しています。

そして、提案型営業の訓練を通して営業の手法を学び、将来、台湾でIP装置販売事業を任されるときに活用していきたいと考えています。



【受講者様】